

Q 2) 平成15年8月の洪水時に、二風谷ダムはどのような役割を果たしたのですか。

【回答】

- 平成15年8月洪水は当時の計画を上回る戦後最大の洪水でしたが、二風谷ダムでは約2,330万 m^3 （札幌ドーム約15杯分）の水を貯め込み、下流の水位を30cm～1.1m下げ（平取町本町地区では60cm、日高町富川地区では30cm）、洪水被害を軽減しました。

- また、この洪水では、沙流川上流の山地崩落などにより、大量の流木が発生したため、橋梁の流出などの被害が発生しましたが、二風谷ダムにおいて約5万 m^3 もの流木をダムに捕捉したことにより、ダム下流の流木による被害を軽減することができました。



図一 二風谷ダムによる水位逡減効果



写真一 洪水時の二風谷ダム
(平成 15 年 8 月 10 日 6 時～7 時の間 貯水位 EL=48.18～48.39m の間)



約 50,000m³ の流木を捕捉

写真－2 大量の流木を捕捉した二風谷ダム(平成 15 年 8 月 10 日 9 時頃)



写真－3 流木により流出した橋梁(二風谷ダム上流(額平川))